確保
ドル支援

替技術の開発推進⑤安全保障プログラムの策定――の5項目。

中長期見通しは、IEA（国際エネルギー機関）に作業部会を設置して策定し、既存の重要鉱物に関する作業部会とともに、分析・検討に当たる。上流投資への支援では、重要鉱物の埋蔵量が多い途上国での民間企業の投資を後押しする。供給地を増やすことで、一部の国・地域への過度の依存を減らす。1300億ドルの内訳は公表していない。

省資源・代替技術の開発では、重要鉱物の埋蔵・生産量が多いオーストラリアとの連携強化を打ち出した。

開かれている。ネルギー・環境で合意し、に盛り込まれた。

四は①重要鉱物需給見通し追加対策を②発展途上国流投資・技術援する③リチン電池やネオのリサイクル④省資源・代

金属

LIBリサイクルで共同研究

ことができ、人材が育つよてている。

場ではDX導、環境保全に化炭素排出量削減にも積極的に取り組んでいる。白河工場は太陽光発電で、大紀アルミニウム工業所国内拠点で最大の発電量を保持している。太陽光パネル1888枚で月間平均11万キロワットを発電し、使用量の16%を賄う。また、フォークリフトのEV移行も進め、4月時点で全36台のうち9台がEV車両となった。

ションフローを活用したLIB材料向け原料の製造プロセスの開発を行ってきた。その結果、従来の溶媒抽出装置であるミキサーセトラーと比べ小規模かつ高効率な溶媒抽出プロセスの開発に成功する

ことで、開発プロセスに抽出するプロセスの確立を目指す。

エマルションフローは、従来技術に比べ10倍以上の生産能力を可能とし、装置の小型化やランニングコストを低減できるのが特徴。連続処理が可能な多段エマルションフローを

の高純度精製が可能となる。

BHPの豪州鉱山会社買収
豪裁判所が承認

資源大手BHPは17日、豪州の資源会社OZミネラルズ（OZL）

富士興産が配布企画に賛同・協賛
「舞洲プロジェクトSDGsハンドブック」

レアメタル・レアアースの専業商社、富士興産（本社・大阪市、社長・赤領和俊氏）は14日、舞洲プロジェクトの副読本「SDGsハンドブック」配布企画に賛同し協賛したと公表した。

舞洲プロジェクトは大阪を拠点とするプロスポーツチームが中心となり、民間企業と連携しスポーツの振興およびスポーツ産業の発展と舞洲の活性化・都市魅力の向上を目指すプロジェクト。

舞洲プロジェクトの一環では、副読本「SDGsハンドブック」が制作された。副読本は、SDGsの各目標の解説に加えて、企業の取り組み事例が紹介されている。

副読本で「富士興産のSDGs」を紹介

「富士興産のSDGs」事例では、「レアメタルなどの貴重な資源のリサイクルを進めます」「太陽光発電や燃料電池自動車の導入など、二酸化炭素の排出量を減らす取り組みを進めています」「地元小学校への連絡帳の寄贈」など。

副読本は、小学校で行われるSDGs学習の補助教材として、大阪市内全域の小学生（高学年）と先生にダイレクトに届けられる。全小学校の図書室および市内24区の図書館には、書籍（ハードカバー）仕様にして書架に納められる。

「当社ではカーボンニュートラル社会の実現や、働きやすい職場づくり、地域の子どもたちの成長支援などを行っている。その取り組み事例を通じ、子どもたちにSDGsについての理解を深めてもらえるとうれしい限り。興味のある方には当副読本を贈呈したい」（赤領社長）。

富士興産は1989年7月の創立。拠点は本社のほか、大正工場・倉庫（大阪市大正区）、木津川倉庫（大阪市西成区）を持つ。

ニッケルやコバルト、チタン、タングステンなどのレアメタル・レアアースを中心に、特殊金属スクラップのリサイクル・回収・選別検収・加工・販売を専門業務としている。国内メーカーや同業者にとどまらず、海外の仕入先・販売先とも積極的に連携、業容拡大に努めている。強固でグローバルなリサイクルネットワークが強み。

ンベストメントがOZLの株式を100%取得するスキームについて、13日に株主からの承認を得ていた。同スキームは5月2日に実施される予定。

4日ぶり反落
ニューヨーク金

【ニューヨーク時事】週末14日のニューヨーク商品取引所（COMEX）の金塊先物相場は、対ユーロでドルが上昇したことを受け、4日ぶりに反落した。中心限月6月物の清算値（終値に相当）は前日比39・50ドル（1・92%）安の1オンス＝2015・80ドル。

米連邦準備制度理事会（FRB）のウォラー理事はこの日朝方、米テキサス州サンアントニオで行われた講演で、根強いインフレを背景に金融政策引き締めを続ける必要性に言及、「（FRBには）まだまだやるべき仕事がある」と述べた。この発言を背景に、FRBによる早期の利上げ停止観測が幾分後退

ロでのドル上昇もドル建て商品の割高感につながり、相場の重しとなった。

この日午前には、3月の米小売売上高や米ミシガン大消費者景況感指数、3月の鉱工業生産指数など複数の経済指標が発表されたものの、内容は強弱まちまちで、市場の反応は限定的だった。金相場は、リセッション（景気後退）懸念がくすぶる中で騰勢が続いており、一段高を目指す可能性があるとの見方も台頭している。

3日ぶり反落
ロンドン金

【ロンドン時事】週末14日のロンドン自由金市場は3日ぶりに反落した。

金塊相場は午後4時15分現在、前日同時刻比37・78ドル安の1オンス＝1999・55ドル。

人事異動
（カッコ内は出身）

DOWJONES